

6章

パソコンのしくみ

ふだん「パソコン」と呼んでいるものは、
いろいろな要素から成り立っています。

- 1 ハードウェアとは 154
- 2 ソフトウェアとは 157

1 ハードウェアとは

コンピュータのしくみについて、「ハードウェア」と「ソフトウェア」、または省略して「ハード」と「ソフト」という言葉がよく使われます。

ハードウェア (Hardware) とは、「固体の、形あるもの」のことです。

パソコンの世界では、ディスプレイやキーボード、マウスなど、実際に目に見えるもの、手に触れられるものを指します。プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器もハードウェアです。

しかし、ハードウェアはそれ自体だけでは使えません。そのハードウェアに合ったソフトウェアが必要です。ソフトウェアがあってはじめて、ハードウェアはそれぞれの役割を果たすことができます。

パソコンのハードウェアは、役割によって次のように分類することができます。

1. 記憶装置

パソコンで扱うデータを記憶する装置には、次のようなものがあります。

ハードディスク装置

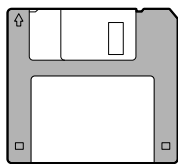
金属やガラスなどの固い円盤を高速に回転させてデータを記憶する装置です。電源を切っても、データが消えることはありません。大きな容量で、たくさんのデータが記憶できます。

本製品には、ハードディスク装置が内蔵されています。

必要があれば「外付け」のものを追加して記憶容量を増やすこともできます。

フロッピーディスク

3.5インチの薄い円盤にデータを記憶する媒体です。小型で持ち運びができるので、データの受け渡しに便利です。

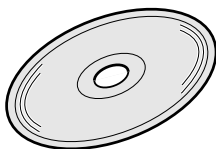


フロッピーディスクのデータをパソコンに読み込む装置を「フロッピーディスク装置」または「フロッピーディスクドライブ」といいます。本製品には、フロッピーディスク装置が内蔵されています。

 フロッピーディスクの使い方 ▶ 「7章 8 フロッピーディスク」

CD

直径 12cm の円盤にデータを記憶する媒体です。



用語

・内蔵

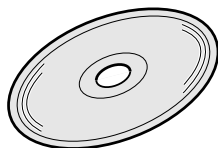
パソコン本体にあらかじめ組み込まれていること。

パソコンのデータを記録するCDには、次の種類があります。

- CD-ROM 読み出し専用
- CD-R 書き込みができる。一度書き込まれたデータの削除・変更はできない
- CD-RW 1000回程度、データの書き換えや削除が行える
- CDエクストラ 記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生する
- フォトCD 普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録する音楽CD

DVD

CDと同じ直径12cmの円盤に、CDの6～8倍のデータを記憶できます。

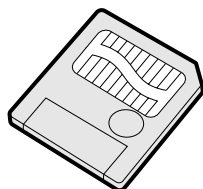


- DVD-ROM 読み出し専用
- DVD-Video 映像再生用

メモ리카ード

小さなカードにデータを記憶する媒体です。次の種類があります。

- ・スマートメディア
- ・SDメモ리카ード など



大きなデータが保存できるので、デジタルカメラ、電子楽器、音声・音楽用機器、ファックス、プリンタ、スキャナなどの機器とのデータの移動に便利です。

2. 表示装置

表示装置は、パソコンの内部で行う作業を、目に見えるように表示する装置です。一般的にディスプレイが使われます。ディスプレイを見ながらパソコンに指示を出すことができます。

液晶ディスプレイ

画面をごく小さな点に分けて、点ごとに電圧を変化させて画像を表示します。本製品には、液晶ディスプレイが内蔵されています。

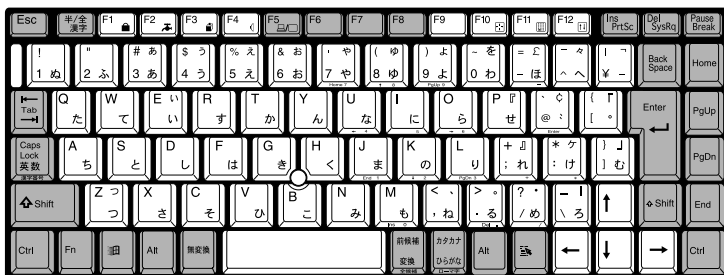
CRTディスプレイ

テレビと同様に、ブラウン管を発光させて表示します。


3. 入力装置

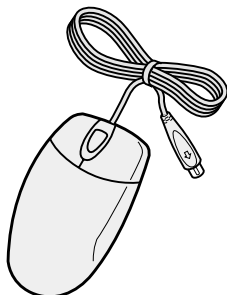
キーボード

文字や数字など、記号を入力してパソコンに指示を与える装置です。



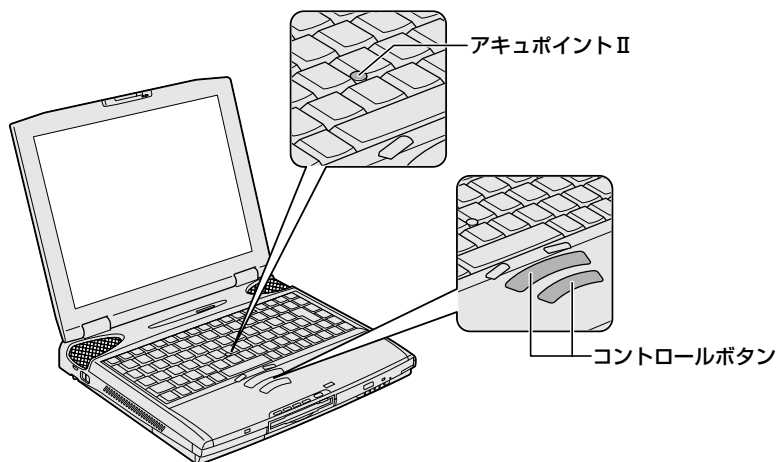
マウス

画面上のマウスポインタ () を動かして、パソコンに指示を与える装置です。本製品に同梱されています。



アキュポイントIIとコントロールボタン

マウスと同じ役割を持つ入力装置です。



2 ソフトウェアとは

ソフトウェア (Software) とは、パソコンに実際の命令を出す道具です。ソフトウェアは目に見えませんが、ハードウェアであるパソコンに組み込んで (インストールして) 初めて使えます。ソフトウェアがないと、ハードウェアは存在しているだけで、その価値を発揮できません。

パソコンで使用するソフトウェアは、大きく分けて次のように呼ばれます。

1. OS (オペレーティングシステム)

基本システムともいいます。パソコンでデータを扱うための、土台となるソフトウェアです。


本製品では、OSに「Windows Me」を使います。パソコンを購入して最初にWindowsのセットアップを行うのは、パソコンを動かす土台を敷くためです。セットアップ済みのパソコンでは、毎回電源を入れるたびに、Windowsが起動して、その上でデータを扱えるようになります。

OSによって、画面の表示形式と、機器を操作する環境が異なります。Windowsでは、パソコン内部での作業をイメージしやすいように、画面上にマウスポインタやアイコンが表示されます。

2. アプリケーション

アプリケーション・ソフトウェアの略で、特定の用途のために利用するソフトウェアのことです。ワープロや計算など、目的によって使い分けます。

アプリケーションはOSによって仕様が異なるので、Windows MeにはWindows Me対応のアプリケーションを使用します。セットアップ済みのパソコンにインストールした後、OSの上で起動して使います。本製品には、いろいろなアプリケーションがすでにインストールされていますので、目的に応じて使ってみてください。

 本製品にインストールされているアプリケーションについて

▶『活用編 1章 アプリケーションについて』

アプリケーションを使って作ったデータは、ファイルの形でひとまとまりに保存します。

Windowsでは、ファイルがどのアプリケーションで作られたものかわかるように、アプリケーションごとに異なるアイコンでファイルを表示します。

 ファイルについて ▶「2章 4 ファイルやフォルダを作る」

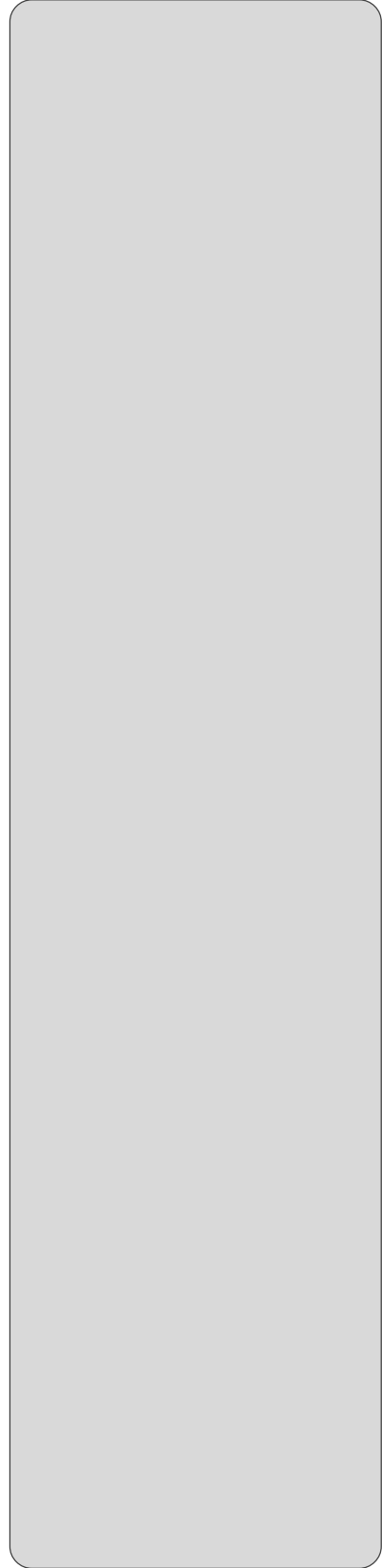
そのほかにも、OS上でハードウェアを動かすためのソフトウェア (ドライバ) や、アプリケーションを補佐する働きをもつソフトウェア (ユーティリティ) など、様々な種類のソフトウェアがあります。

用語

- ・インストール
ソフトウェアをパソコンに組み込み、使える状態に設定すること。

6章

パソコンのしくみ



7章

本体の機能を知ろう

本製品に用意されている機能について説明しています。

1	各部の名前	160
2	インジケータ	163
3	キーボード	166
4	ディスプレイ	173
5	ハードディスク装置	174
6	サウンド	175
7	バッテリー	177
8	フロッピーディスク	184
9	CD	188
10	インターネットボタンとメールボタン ...	194
11	日常の取り扱いとお手入れ	195

1

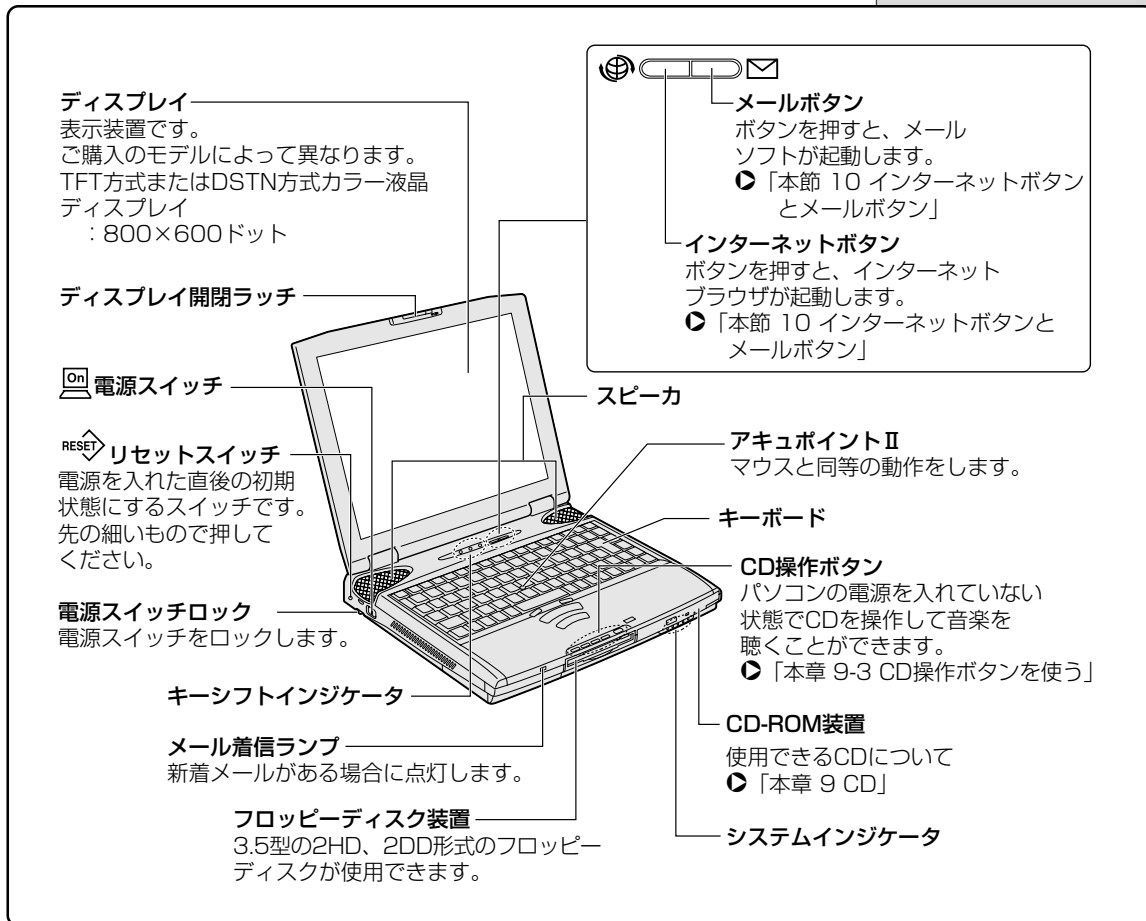
各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。

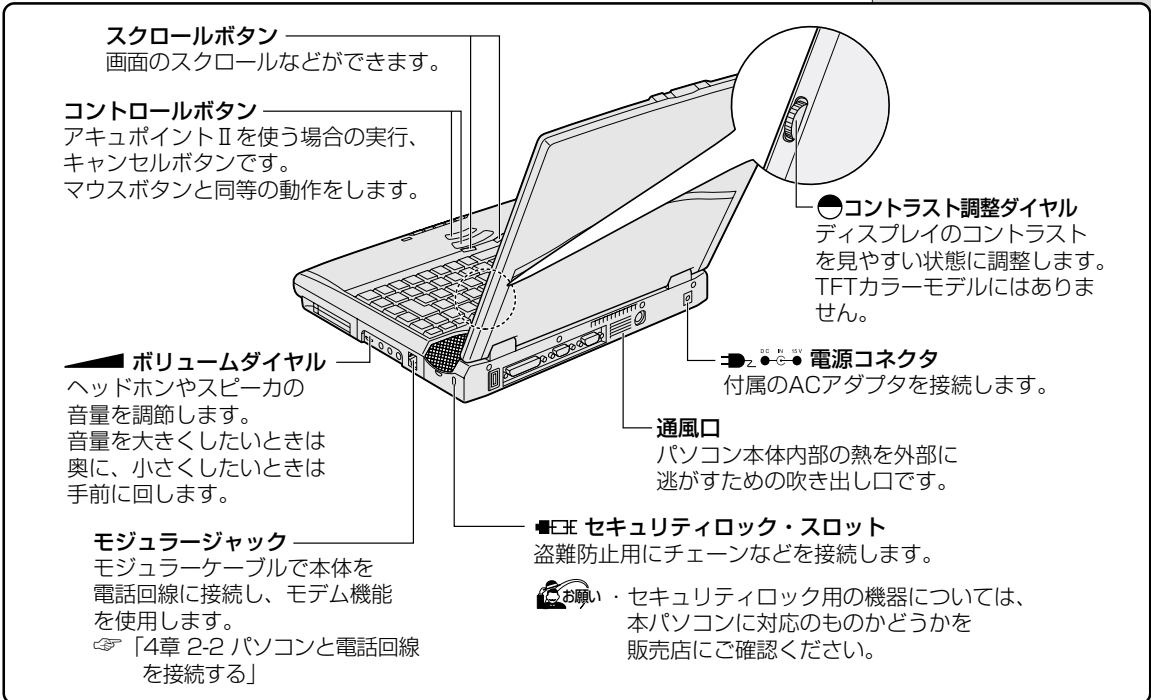
それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

周辺機器を取り付ける場所については、『活用編 3章 周辺機器を使う』をご覧ください。

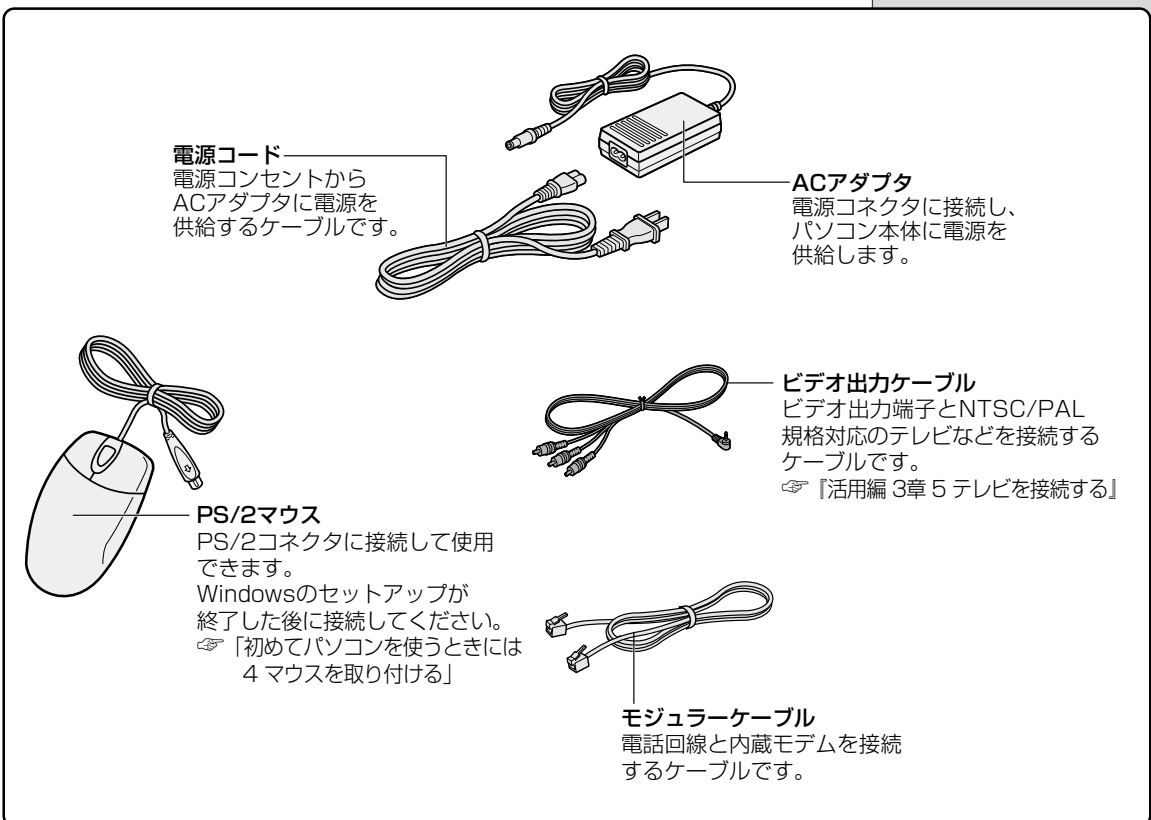
■ 前面図



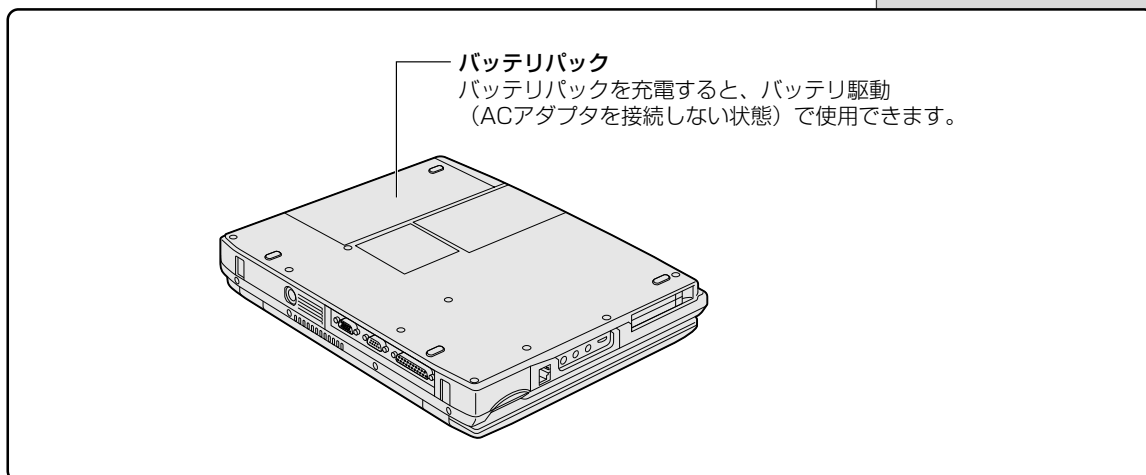
■ 背面図



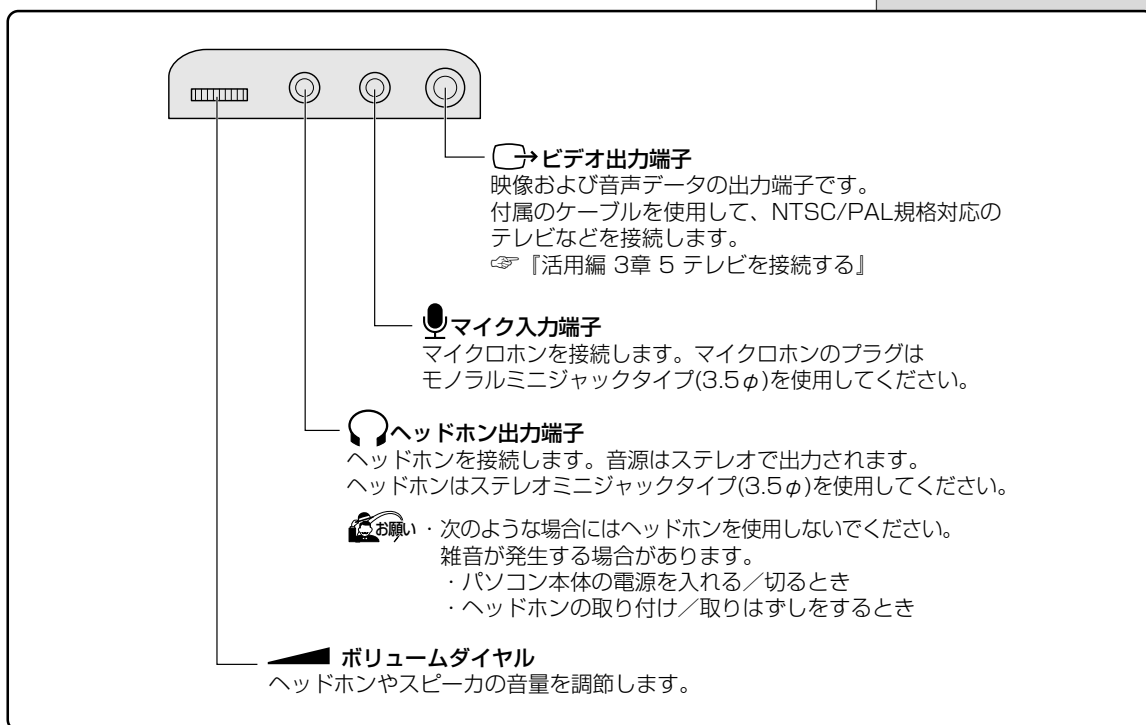
■ 付属品



■ 裏面図



■ 端子拡大図



2 インジケータ

インジケータの点灯状況によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。

	DC IN LED	ACアダプタの接続 ▶「1章 1- 電源に関する表示」
	Power LED	電源の状態 ▶「1章 1- 電源に関する表示」
	Battery LED	バッテリーの状態 ▶「本章 7 バッテリ」
	Disk LED	ハードディスク装置にアクセスしている ▶「本章 1- ハードディスク装置」
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスク装置、またはCD-ROM装置にアクセスしている ▶「本章 8 フロッピーディスク」 ▶「本章 9 CD」 CD電源スイッチが入っている ▶「本章 9-3 CD操作ボタンを使う」


キーシフトインジケータ

キーボードのキーは、状態によって入力できる文字が異なります。
キーシフトインジケータは、入力状態を示します。

	Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」
	Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」
	Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」

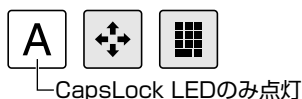
CapsLock LED

文字キーを押すと、英字の大文字が入力できる「大文字ロック状態」を示します。

(Shift)+(CapsLock 英数)キーを押すと、Caps Lock  LEDが点灯し、大文字ロック状態になります。

すべてのキーを大文字ロック状態で使用する場合、3つのLEDの状態を次のようにしてください。

大文字ロックは数字ロックやかな入力よりも優先度が低いため、LEDの状態が異なると、一部のキーが数字やキー制御のキーとなり、英字が入力できません。大文字ロック状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



MS-IMEツールバーを表示している場合は、[CAPS]の文字がくぼんで表示されます。




ATOKツールバーを表示している場合は、[英大]の文字が表示されます。



大文字ロック状態を解除するには、もう一度(Shift)+(CapsLock 英数)キーを押します。解除されると、CapsLock LEDは消灯します。

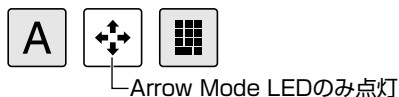
Arrow Mode LED


オーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使用できる「アロー状態」を示します。

(Fn)+(F10)キーを押すと、Arrow Mode  LEDが点灯し、「アロー状態」になります。アロー状態でオーバーレイキーを押すと、カーソル制御キーとして使えます。

アロー状態を解除するときは、もう1度(Fn)+(F10)キーを押します。解除されるとArrow Mode LEDは消灯します。


アロー状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



 オーバレイキーについて ▶ 「本章 3 キーボード」

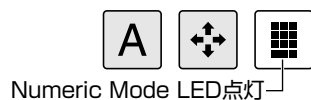
Numeric Mode LED

オーバーレイキーを押すと、数字が入力できる「数字ロック状態」を示します。

(Fn)+(F11)キーを押すと、Numeric Mode  LEDが点灯し、数字ロック状態になります。

数字ロック状態でオーバーレイキーを押すと、キーの前面右側に印刷された数字などの文字が入力できます。

数字ロック状態の場合、3つのLEDの状態は次のようになります。



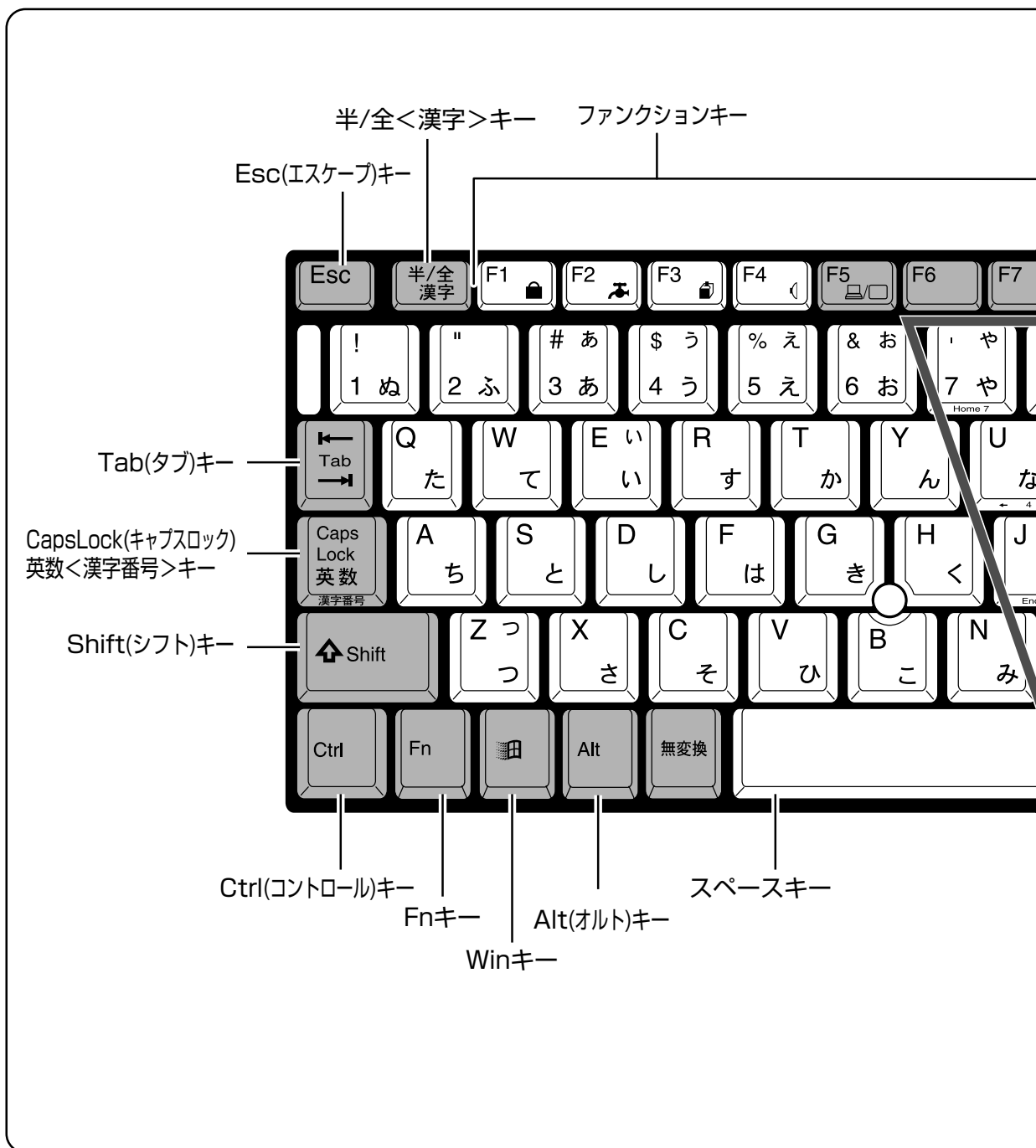
3

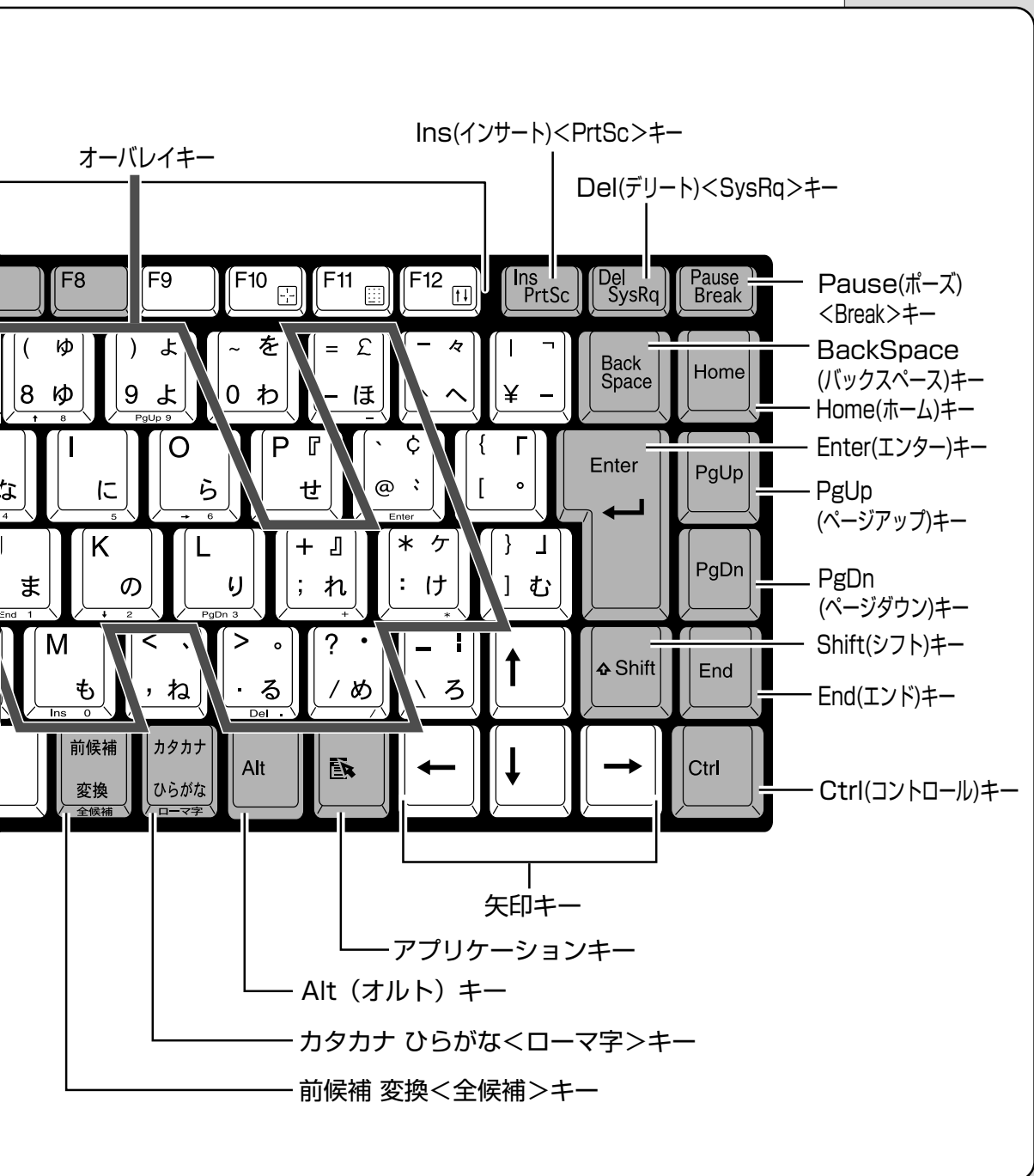
キーボード

ここでは基本的な使い方と、それぞれのキーの意味や呼び方について簡単に説明します。

キーボードに印刷されている「£」「¢」「々」などの文字は直接入力できません。

お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。





7章
 本体の機能を知ろう




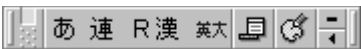
主なキーの呼び方と役割

キー	内容
(Esc) (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
(Shift) (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字入力の一時的な切り替えや記号などを入力するときに使います。
(Alt) (オルト) (Ctrl) (コントロール)	ほかのキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
(田) (ウイン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
(Space) (スペース)	空白文字を入力するときや、入力した文字をかな漢字変換するときに使います。
(鼠) (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
(Fn) (エフエヌ)	オーバーレイキーを使用するときに使います。また、ファンクションキーとの組み合わせにより特殊機能を実行するときに使用します。
(Ins) (インサート)	文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。
(Del) (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
(→) (←) (↑) (↓) (矢印)	カーソル移動などに使います。
(Enter) (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
(F1)～(F12) (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。



入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。

キー	内容
(Alt)+(カタカナひらがな)	<p>かな入力ができる状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの右下に印刷されたひらがなを入力できます。</p> <p>MS-IME ツールバーを表示している場合は、[KANJI] の文字がくぼんで表示されます。</p>  <p>ATOK ツールバーを表示している場合は、[カナ] の文字が表示されます。</p>  <p>パソコンを再起動すると、標準設定（ローマ字入力）に戻ります。</p>
(Shift)+(CapsLock 英数)	<p>大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キーの左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。</p> <p>MS-IME ツールバーを表示している場合は、[CAPS] の文字がくぼんで表示されます。</p>  <p>ATOK ツールバーを表示している場合は、[英大] の文字が表示されます。</p> 

かな入力や大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。ロック状態の優先度は、かな入力状態>大文字ロック状態です。

Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + F1 〈インスタント セキュリティ機能〉	表示画面をオフにし、キーボードやマウスから入力できなくします。解除するには、パスワードを設定している場合はパスワードを入力し、 Enter キーを押します。パスワードを設定していない場合は Enter キーまたは F1 キーを押します。 パスワードは、東芝HWセットアップで設定します。  詳細について ●『活用編 1章 2-東芝HWセットアップ』
Fn + F2 〈省電力モードの設定〉	Fn + F2 キーを押すと、設定されている東芝省電力ユーティリティの省電力モードが表示されます。 Fn キーを押したまま、 F2 キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
Fn + F3 〈使用する機能の選択〉	Fn + F3 キーを押すと、電源を切る状態（電源オフ、スタンバイ、休止状態）のメニューが表示されます。 Fn キーを押したまま、 F3 キーを押すたびに、表示が切り替わり、電源スイッチを押したときに実行する機能が設定されます。
Fn + F4 〈アラーム音量の調節〉	アラーム音量を調節します。ビープ音で音量を知らせます。 Fn キーを押したまま、 F4 キーを押すたびに音量が変わります。 ▶OFF→小→中→大
Fn + F5 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を切り替えます。 Fn + F5 キーを押すことにより、現在の表示から、次の順で表示が切り替わります。 ▶LCD→LCD/CRT→CRT テレビが接続されている場合* ▶LCD→LCD/CRT→CRT→LCD/TV→TV * テレビに表示させるには、あらかじめ設定が必要です。  詳細について ●『活用編 3章 5 テレビを接続する』 ●『活用編 3章 8-3 CRTディスプレイを接続する』



・ LCD：液晶ディスプレイ
CRT：CRTディスプレイ
TV：テレビなど

キー	内容
(Fn)+(Shift)+キー トップの前面左側に 印刷された文字のキー (Fn)+(F10) (アロー状態)	キートップ前面左側に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。 アロー状態を解除するには、もう1度(Fn)+(F10)キーを押します。
(Fn)+キートップの 前面右側に印刷され た文字のキー (Fn)+(F11) (数字ロック状態)	キートップ前面右側に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。 数字ロック状態を解除するには、もう1度(Fn)+(F11)キーを押します。
(Fn)+(F12) (スクロールロック状態)	一部のアプリケーションで(↑)(↓)(←)(→)キーを画面スクロールとして使用できます。 ロック状態を解除するには、もう1度(Fn)+(F12)キーを押します。

⌘キーを使ったショートカットキー

⌘キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
⌘+(R)	[ファイル名を指定して実行] ダイアログボックスを表示する
⌘+(M)	すべてをアイコン化する
Shift+(⌘)+(M)	すべてのアイコン化を元に戻す
⌘+(F1)	Windows のヘルプを起動する
⌘+(E)	Windows エクスプローラを起動する
⌘+(F)	ファイルまたはフォルダを検索する
Ctrl+(⌘)+(F)	他のコンピュータを検索する
⌘+(Tab)	タスクバーのボタンを順番に切り替える
⌘+(Break)	[システムのプロパティ] ダイアログボックスを表示する

特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	操作
システムの再起動	(Ctrl)+(Alt)+(Del)	プログラムの強制終了画面が表示されます。もう一度押すと、システムを再起動します。
画面コピー	(Fn)+(Ins)	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	(Alt)+(Fn)+(Del)	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



お願い

- ・システムが操作不能になったとき以外は、(Ctrl)+(Alt)+(Del)キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

4 ディスプレイ

本製品では TFT または DSTN 方式カラー液晶ディスプレイ（800×600 ドット）を採用しています。

 ディスプレイとは ▶ 「6 章 1-2 表示装置」

カラー液晶ディスプレイの機能について説明します。

■ 表示について

- 本製品では、カラー対応のアプリケーションをご使用の場合にカラー表示されます。それ以外の場合は、モノクロ表示になります。
- TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- DSTN 方式のカラー液晶ディスプレイは性能上、多少の表示ムラが見えることがあります。また、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、構造上、まれに画面中央の水平方向に細かいすじが見えることがあります。現在の最先端の技術でも、これらのすじをなくすことは困難ですので、ご了承ください。


■ 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600×1200ドット	65,536色
1280×1024ドット	1,677万色
1024×768ドット	1,677万色
800×600ドット	1,677万色
640×480ドット	1,677万色

1024 × 768 ドット以上は仮想スクリーン表示になります。

仮想スクリーン表示のとき、Windowsのタスクトレイにある時計の一部が表示できない場合があります。その場合は CRT ディスプレイに表示してください。

 CRT ディスプレイの接続

- ▶ 『活用編 3 章 8-3 CRT ディスプレイを接続する』



・ DSTN モデル、および TFT モデルの 1,677 万色は ディザリング表示です。



・ ディザリング
1 ピクセル（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数ピクセルの組み合わせによって表現する方法。


7 章

本体の機能を知ろう


5

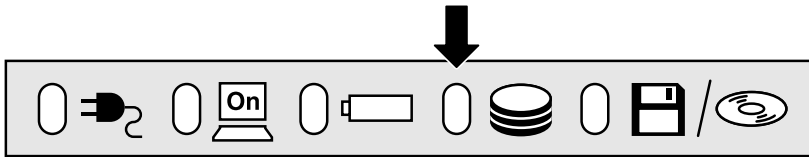
ハードディスク装置

ハードディスク装置は、本体に内蔵されています。取りはずしはできませんので、分解しないでください。

 ハードディスク装置とは ▶ 「6章 1-1 記憶装置」

ハードディスク装置に関する表示

ハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LEDが点灯します。




ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。バックアップの方法は、『ヘルプとサポート』をご覧ください。

ハードディスクを使用するときのお願い

- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起きたり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。落とす、ぶつけるなど強いショックを与えないでください。
- ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。



・Disk  LED が点灯中は、電源を切ったり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データが消失するおそれがあります。

6 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

- スピーカについて ▶「本節 1 スピーカの音量を調整する」
- システムスピーカについて ▶「本節 2 システムスピーカについて」

1. スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能はMicrosoft Windows Sound System、およびSound Blaster Proに適合しています。

スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、またはWindowsの「ボリュームコントロール」を使用します。


ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。

 ボリュームダイヤル ▶「本章 1 各部の名前」

ボリュームコントロールで調整する


起動方法

1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする
または、[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする
ボリュームコントロールが起動します。


2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

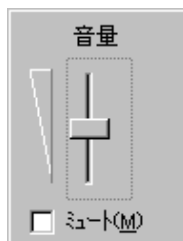
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると、消音になります。

詳しくは、「ボリュームコントロール」のヘルプをご覧ください。

タスクバーの [音量] アイコン () でスピーカの音量を調整することもできます。調整方法は次のとおりです。

[スピーカ] アイコンをクリックする

1 タスクバー上の [音量] アイコン () をクリックする
次の画面が表示されます。



2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると、消音になります。

使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

- 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す



・ハウリング

スピーカから出た音がマイクに入りスピーカに返されると、音が増幅される。これが繰り返されて発生する高く大きな音のこと。

2. システムスピーカについて

システムスピーカを設定すると、パソコンのハードウェアの状態を知ることができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。

設定方法

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [東芝HWセットアップ] をダブルクリックする

3 [Hardware Alarm] タブで設定する

鳴らす場合は [System Beep] をチェック () します。

音量は [Alarm Volume] のスライダーバーをドラッグして調整します。



・ [コントロールパネル] 画面に [東芝HWセットアップ] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルオプションを表示する。] をクリックしてください。

7 バッテリ

危険

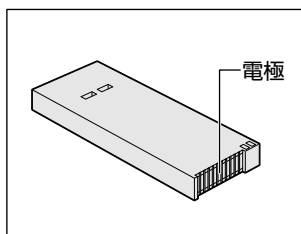
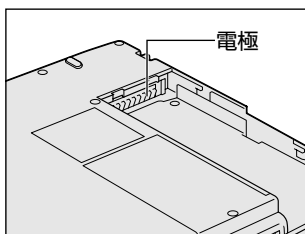
- ・バッテリーパックを火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックを分解・改造しないでください。破裂、発火させる原因となります。
- ・バッテリーパックの電極の（+）と（-）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。
- ・バッテリーパックにくぎを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないでください。電極がショートすると、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

- ・バッテリーパックの使用、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、すぐにパソコン本体から取りはずしてください。
- ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。使用済みのバッテリーパックの処理は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイ機能が効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度全バッテリーを充電するために、ACアダプタを接続して充電してください。
- ・バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。スタンバイ機能を実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- ・バッテリーパックを保管する場合は、ショート防止のために電極に絶縁テープをはるなどの対策をこうじてください。そのままの状態では保管すると、破裂や火災のおそれがあります。
- ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。
- ・充電機能が著しく低下した場合や、バッテリーのなくなったことによる警告メッセージが表示された場合は使い続けないでください。
そのまま使い続けると、本体内の記憶内容がこわされるおそれがあります。手順に従いバッテリーの交換をしてください。
- ・バッテリーパックを捨てるときは、ショート防止のために、電極に絶縁（ぜつえん）テープをはり、地方自治体の条例や規則に従ってください。
そのままの状態では捨てると、破裂、発火のおそれがあります。
- ・本体側の電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



パソコン本体には、バッテリーパックが内蔵されています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。バッテリーをフル充電しなくても使えますが、使用できる時間は短くなります。

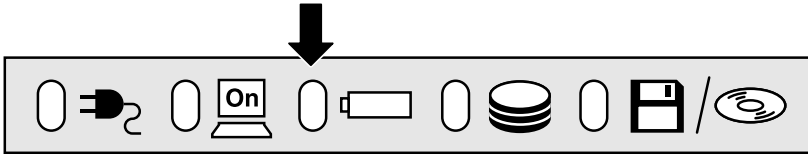
ご購入時は、バッテリーはフル充電されていませんので、本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

1. バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って途中で作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。

Battery LED で確認する

ACアダプタを接続している場合、Battery LED が緑色に点灯すれば充電完了です。



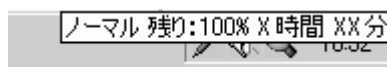
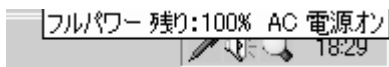
バッテリー駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。Battery LED は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーが接続されていない ・ACアダプタが接続されていない ・バッテリー異常

アイコンで確認する

タスクバーの省電力アイコン () の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

- ACアダプタを接続している場合
- バッテリー駆動の場合



(表示例)


このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。



- ・タスクバーに表示される省電力アイコンの絵は現在使用されている省電力モードにより変わります。
- ・東芝省電力ユーティリティ ([コントロールパネル]-[東芝省電力]) の [電源設定] タブの設定内容によっては、タスクバーに省電力アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定] タブで [タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックしてください。

バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

- Battery  LEDがオレンジ色に点滅する(バッテリーの減少を示しています)
- 警告音(ビーブ音)が鳴る

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの対処を実行してください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態にし、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、休止状態を有効にしておくことをおすすめします。

時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、ACアダプタを接続しているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。



状態	時計用バッテリー
電源ON (Power  LEDが点灯)	10時間以上
電源OFF (Power  LEDが消灯)	ほとんど充電しない

2. バッテリーを充電する

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。



充電方法

1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ


DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF にかかわらず常時充電されます。

2 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。



・長時間使用しないで自然に放電しきってしまったときは、警告音でも Battery  LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。



・時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning (警告) メッセージが出ます。

充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

状態	充電時間
電源ON	約4～10時間
電源OFF	約2～3時間

(注) 周囲の温度が低いとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。次の時間は目安にしてください。

■ 充電完了の状態で使用した場合

省電力モード	動作時間
ノーマル	約2時間

(注) 当社オリジナルプログラムで計測

●使っていないときの充電保持時間




パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。この場合も放置環境などに左右されますので、保持時間は、目安にしてください。

■ フル充電した状態で電源を切った場合

パソコン本体の状態	保持時間
電源切断または休止状態	約2週間

バッテリーを節約する

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- バッテリーの充電を完了（フル充電）する
- バッテリー駆動で使用した後は、バッテリーを充電しておく
- 休止状態にし、こまめに電源を切る
 -  休止状態について ▶ 「1章 3 作業を中断する」
- パネルスイッチ機能を活用し、入力しないときは、ディスプレイを閉じておく
 -  パネルスイッチ機能 ▶ 「1章 4 簡単に電源を切る／作業を中断するとき」
- 省電力モードを設定する
 -  省電力モードの設定 ▶ 『活用編 1章 2- 東芝省電力ユーティリティ』



・ バッテリーパックが極端に熱いか冷えていると、正常に充電されないことがあります。バッテリーを充電するには、10～30℃の室温で充電してください。



・ 使用しないときはバッテリーパックをパソコンから取りはずしておく、バッテリー駆動で使用できる時間は長くなります。

・ スタンバイ機能を実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

3. バッテリパックを交換する

取りはずし／取り付け

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

スタンバイ機能を実行すると、バッテリーパックをはずしたときにデータが消失するので使用できません。

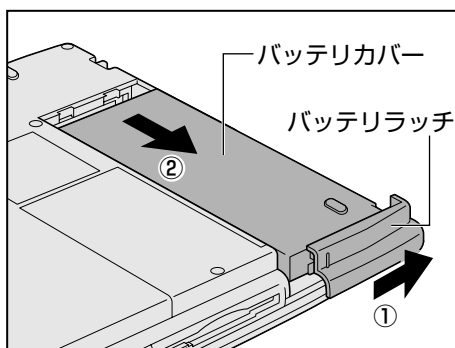
休止状態にする場合は、「東芝省電力ユーティリティ」の[休止状態]タブで、[休止状態をサポートする]をチェックしてください（休止状態にすることにより、再起動にかかる時間が短くて済みます）。

 休止状態について ▶ 「1章 3 作業を中断する」

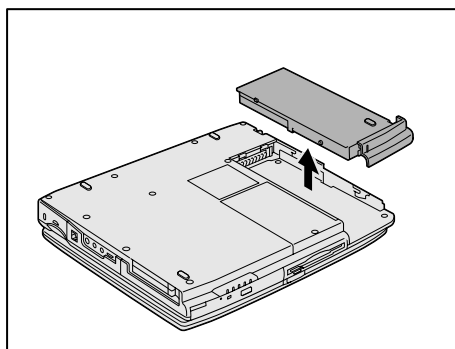
2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をは

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

4 バッテリラッチを横に押し①、バッテリーカバーをスライドさせる②



5 バッテリパックごと、バッテリーカバーを取り出す



すす



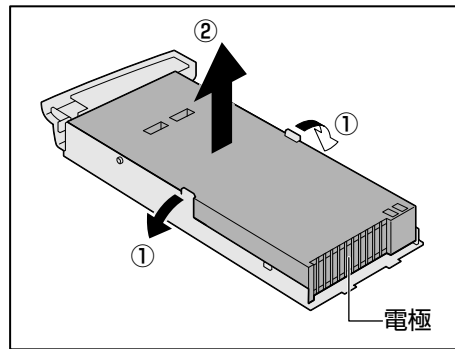
・バッテリーパックの取り付け/取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。



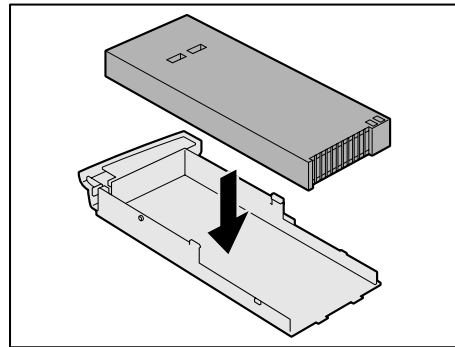
・「東芝省電力ユーティリティ」は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックして、[東芝省電力]（表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリック）をダブルクリック。

6 バッテリーカバーからバッテリーパックを取り出す

バッテリーカバーのツメを左右に広げ①、バッテリーパックを取りはずします②。

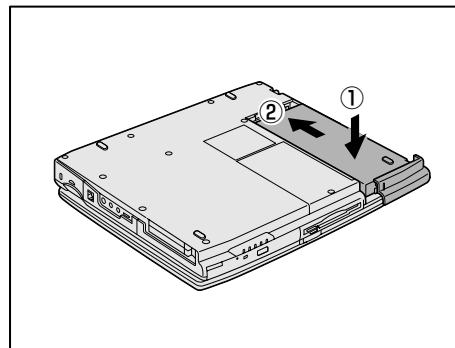


7 交換するバッテリーパックをバッテリーカバーに取り付ける



8 バッテリーラッチが右側にあることを確認し、バッテリーパックをコネクタの位置に合わせ①、静かに差し込む②

新しい、あるいは充電したバッテリーパックを注意して差し込んでください。




9 バッテリーラッチをスライドさせ、バッテリーパックを固定する


8

フロッピーディスク

⚠ 注意

- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  LED が点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスク装置のイジェクトボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。フロッピーディスクのデータやフロッピーディスク装置が壊れるおそれがあります。

1. フロッピーディスク


 フロッピーディスクとは ▶ 「6章 1-1 記憶装置」

使用できるフロッピーディスクの種類とその容量

フロッピーディスクに保存できる容量は、次のとおりです。


フロッピーディスクの種類	1枚に保存できる容量
2DDタイプ	720KB
2HDタイプ	1.2MB
2HDタイプ	1.44MB

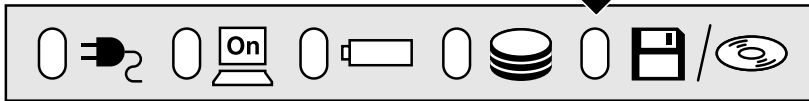
1枚あたりに保存できる容量は、フォーマットのときに指定します。

 フォーマットについて

▶ 「本節 フロッピーディスクを使う前に - フォーマットとは」

フロッピーディスク装置に関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。



- ・Windows用にフォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合は、フォーマットが必要です。
- ・1.2MBの容量にフォーマットすることはできません。1.2MBのフロッピーディスクへは、読み出しと書き込みができます。

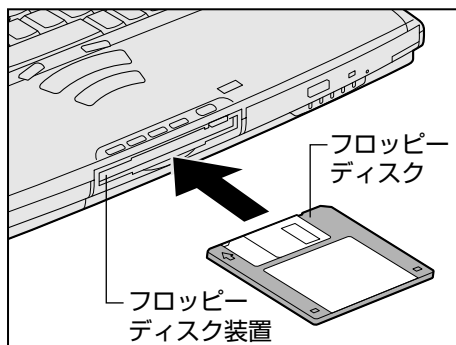
2. フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

フロッピーディスクのセット

1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きにあわせて挿入する

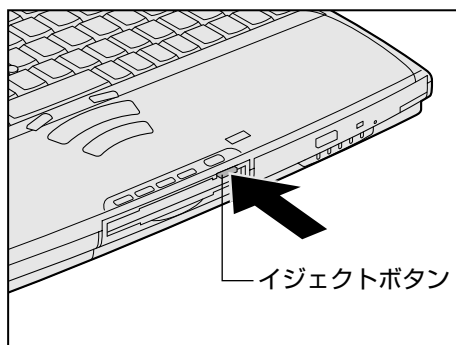
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。



フロッピーディスクの取り出し

1 イジェクトボタンを押す

フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



フロッピーディスクの内容を見る

1 デスクトップの [マイ コンピュータ] をダブルクリックする

[マイ コンピュータ] 画面が開きます。

2 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をダブルクリックする

[3.5 インチ FD] 画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

3. フロッピーディスクを使う前にフォーマットとは

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム(OS)にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。


フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクを使うときは、必ずフォーマットを行なってください。

他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。

フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、Windows のヘルプをご覧ください。

- 1** フロッピーディスク装置に、フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2** デスクトップ上の [マイ コンピュータ] をダブルクリックする
- 3** [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をクリックする
[3.5 インチ FD] アイコンが選択され、アイコンの色が反転します。
- 4** [マイコンピュータ] 画面で [ファイル] メニューから [フォーマット] をクリックする
アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。



・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。

・2HDフロッピーディスクを2DDタイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。

・フォーマット形式は、2DDの場合は720KB、2HDの場合は1.44MBのみになります。

5 フォーマット方法を選択し、[開始] ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので確認してください。

6 [フォーマット結果] の内容を確認し、[閉じる] ボタンをクリックする

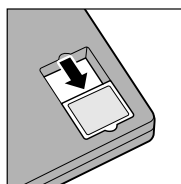
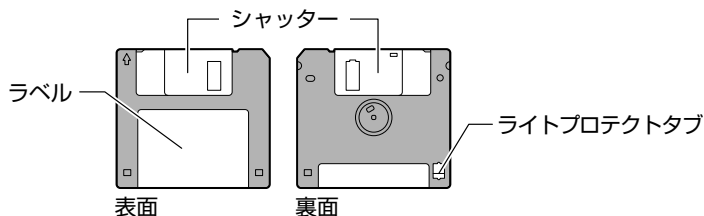
これで、フォーマットは完了です。

他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。

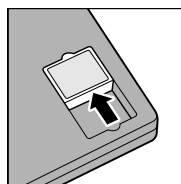
フォーマットを終了する場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。

ライトプロテクトタブを使う

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。

**書き込み禁止状態**

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。

**書き込み可能状態**

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

 フロッピーディスクの取り扱いについて ▶ 「本章 11-フロッピーディスク」





・初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。


⚠ 警告

- ・CD-ROM 装置はサービスマン以外の方は絶対に分解しないでください。
内部にはレーザー光線が使用されており、万一、分解または不適切な使用、修理などがありますと、人体への悪影響(目の痛みなど)をおよぼすおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROM装置の故障の原因になります。
- ・FDD/CD-ROM  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、CD-ROM 装置が動作しています。このときはイジェクトボタンを押さないでください。
CD が傷ついたり、または CD-ROM 装置の故障の原因となります。
- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM  LED が点灯しているときは、CD を取り出さないでください。CD のデータや CD-ROM 装置が壊れるおそれがあります。
- ・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD のデータや CD-ROM 装置が壊れるおそれがあります。
- ・CD-ROM 装置のトレイを開けたときに、CD が回転している場合には、停止するまで CD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。

CD 操作ボタンを使用して、CD などを聴いていた場合は、CD などを停止させ、CD などを取り出した後、CD 電源スイッチで電源を切ってください。

 CD 電源スイッチ ▶ 「本節 3 CD 操作ボタンを使う」

 CD-ROM とは ▶ 「6 章 1-1 記憶装置」

お願い

- ・CD-ROM 装置はレーザー光線を使用しています。製品を安全に使用するため、本書をよく読んでからお使いください。機器に保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

1. CD

CD-ROM 装置で利用できる CD

CD-ROM 装置で読み込みできる CD は、次の種類です。

①音楽用 CD

8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。

▶ 「本節 4- 音楽 CD を聴く」

②フォト CD

③ CD-ROM


使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのもので使用できます。



④ CD エクストラ


⑤ CD-R

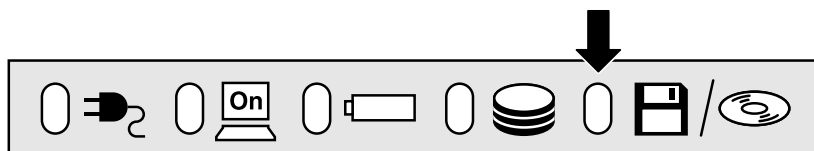
⑥ CD-RW

CD-ROM 装置に関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、CD-ROM 装置が動作しているときは、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。

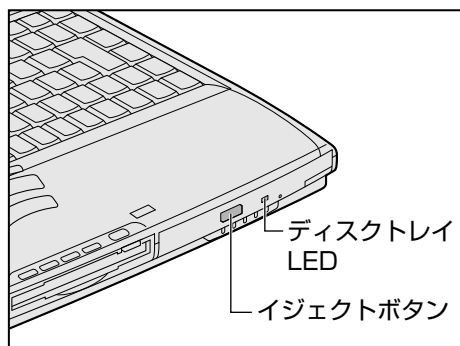
パソコン本体の電源が入っていない場合、CD 電源スイッチで CD-ROM 装置の電源を入ると、FDD/CD-ROM  LED が点灯します。このとき、Power  LED は点灯しません。

 CD 電源スイッチ ▶ 「本節 4 CD 操作ボタンを使う」



2. CDのセットと取り出し

CDは、電源が入っているときにセット／取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- FDD/CD-ROM  LED が点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイLEDの点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。

CDのセット

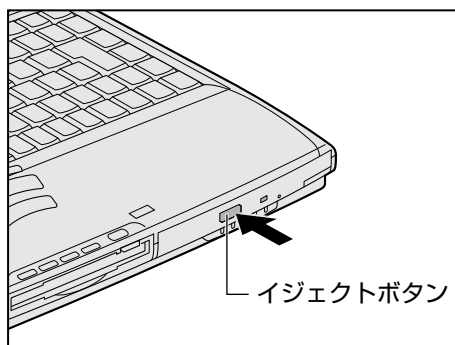
CD-ROM装置へCDをセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる、またはCD電源スイッチを左へスライドする

 CD電源スイッチ  「本節 4 CD操作ボタンを使う」


2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



・パソコン本体を携帯するときは、CD-ROM装置にCDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

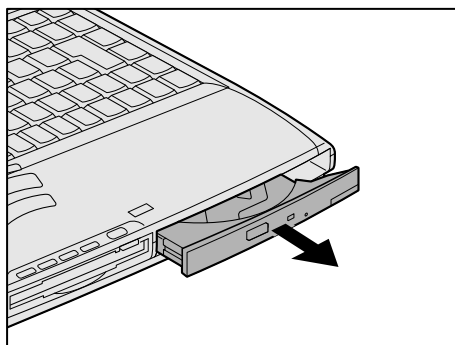


・Windowsが起動したとき、FDD/CD-ROM  LEDが周期的に薄く点灯します。これはCDの自動挿入を検出しているためで、故障ではありません。

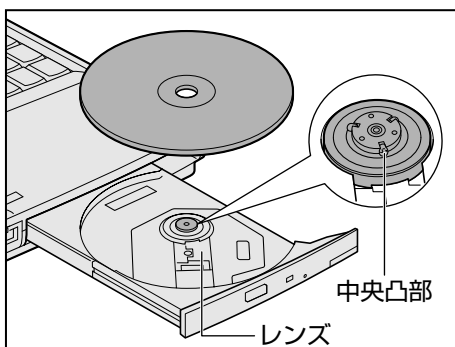
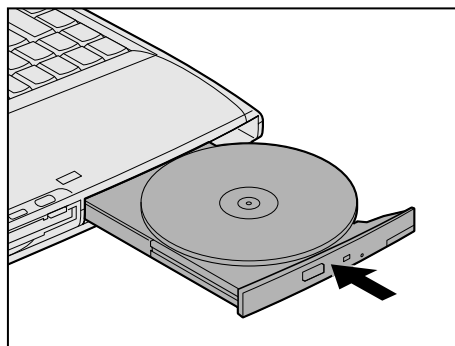
・電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

**4 文字が書いてある面を上にして、CDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする**

カチッと音がして、セットされていることを確認してください。

**5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す****CDの取り出し**

1 パソコン本体の電源を入れる、またはCD電源スイッチを左へスライドする

2 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



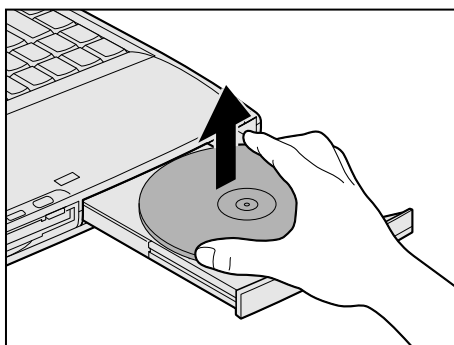
- ・CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CDを正しくディスクトレイにセットしないとCDを傷つけることがあります。



- ・傷ついたり汚れのひどいメディアは、メディアを挿入してから再生が始まるまで、時間がかかる場合があります。その場合、しばらくすると、再生が開始されます。
- ・メディアの汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭き取ってから再生してください。
- ・メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

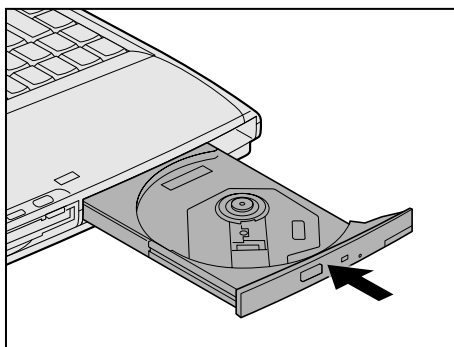
4 CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

ディスクトレイからCDを取り出します。



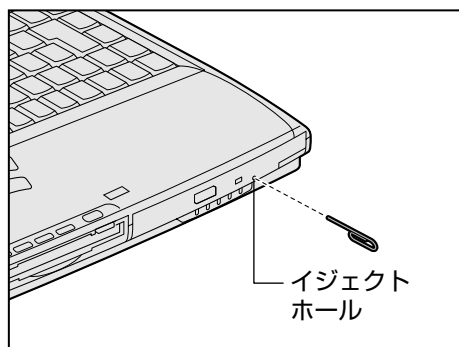
CDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



■ ディスクトレイが出てこない場合

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM装置のイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押ししてください。ディスクトレイが出てきます。



- ・パソコン携帯時は、CD-ROM装置に入っているCDは取り出してください。
- ・電源を入れ、CD-ROM装置のインジケータが点滅しなくなったことを確認してから、CD-ROM装置のイジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。



3. CD操作ボタンを使う

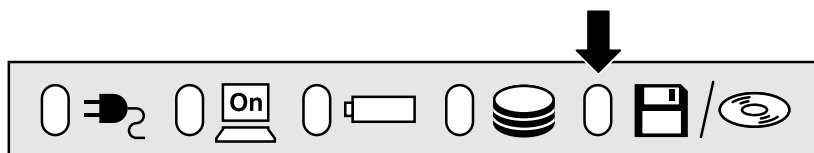
音楽CDを聴く

CD操作ボタンを使うと、パソコン本体の電源を入れていない状態で、ディスプレイを閉じたまま簡単に音楽CDを聴くことができます。

1 CD電源スイッチを左へスライドする

CD-ROM装置の電源が入ります。電源を入れてから、4分以上、CD操作ボタンの操作がない場合は、自動的に電源がOFFの状態になります。その場合はもう一度同じように電源を入れ直してください。

CD-ROM装置の電源が入っているときは、FDD/CD-ROM  LEDが点灯します。Power  LEDは点灯しません。

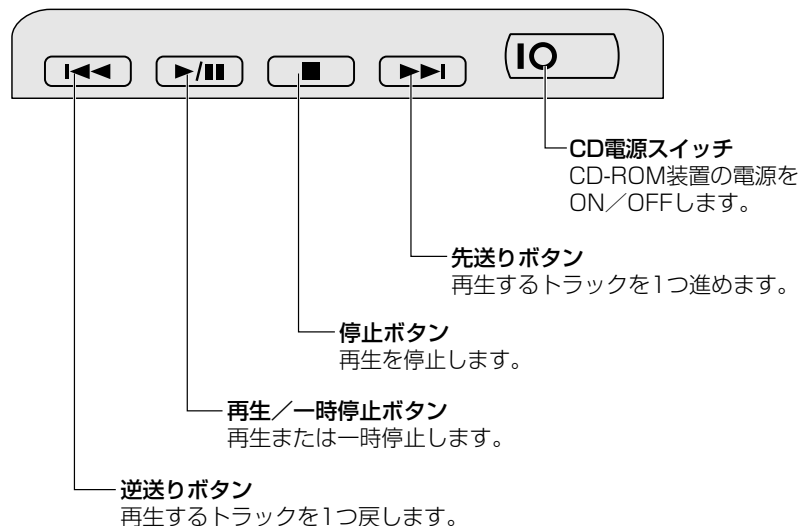


2 音楽CDをセットする

 CDのセットのしかた ▶ 「本節-2 CDのセットと取り出し」

3 CD操作ボタンを押す


CD操作ボタンの各ボタンの役割は次のとおりです。



終了する場合は、電源を入れるときと同じようにCD電源スイッチを左へスライドします。



・CD電源スイッチを左へスライドしたときの設定は、「東芝サービス」で切り替えることができます。

 東芝サービス

▶ 「活用編 1章 2-東芝サービス」

7章

本体の機能を知ろう



・パソコン本体の電源が入っているときは、CD電源スイッチの操作は必要ありません。CD操作ボタンの操作で音楽CDを聞くことができます。


・音楽CDの再生中に、パソコン本体に振動・衝撃を与えると、音飛びすることがあります。

10 インターネットボタンとメールボタン

本製品にはアプリケーションを簡単に起動できるボタンがあります。ボタンを押すと、あらかじめ登録されているアプリケーションが起動します。ボタンは2つあり、次のように設定されています。


- インターネットボタン Internet Explorer
- メールボタン Outlook Express

インターネットボタンやメールボタンはインターネットへ接続するための契約やメールソフトの設定が終了後、使用できます。

 インターネットへの接続 ▶ 「4章 2 インターネットに接続する」

 メールソフトの設定 ▶ 「5章 2 必要な設定を行う」

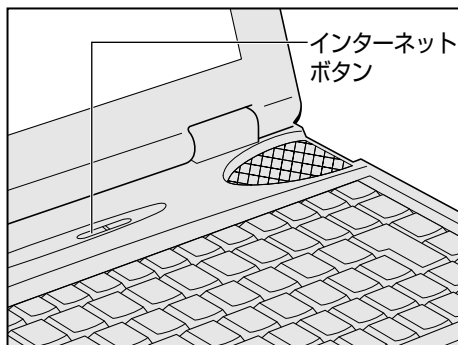
また、あらかじめパソコン本体を電話回線に接続してください。

 接続について ▶ 「4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する」

インターネットボタン

1 インターネットボタン (🌐) を押す

Internet Explorer が起動します。



パソコン本体の電源が OFF のときは電源が ON になります。

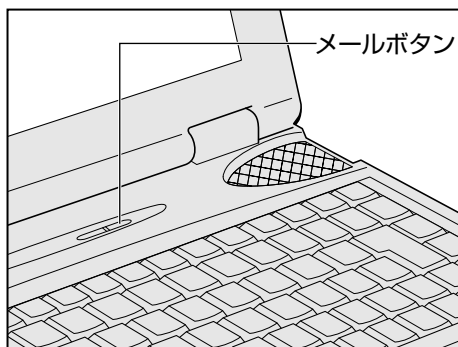
スタンバイ機能実行中、または休止状態にしていたときにインターネットボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後ブラウザが起動します。

 Internet Explorer の使い方 ▶ 「4章 3 Internet Explorer の使い方」

メールボタン

1 メールボタン (✉) を押す

Outlook Express が起動します。



 Outlook Express の使い方 ▶ 「5章 3 Outlook Express の使い方」

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。
製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- ・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5～35℃、湿度 20～80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。
電源を切った後も、Disk LEDが点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、フロッピーディスクやCDがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PA2487U1）と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
- アキュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、強くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは交換を依頼してください（有償）。

液晶ディスプレイ

画面の手入れ

- 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

- 無理な力の加わる扱い方、使い方をしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

サイドライト用FL管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用FL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

表示について

TFTカラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

DSTNカラー液晶ディスプレイには、性質上表示ムラやドット不良が存在することがありますが、故障ではありません。また、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、構造上まれに画面中央の水平方向に細かいすじが見ることがあります。現在の最先端の技術でもこれらのすじをなくすことは困難ですので、ご了承ください。

アキュポイントII (ポインティング装置)

アキュポイントIIは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アキュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アキュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

キャップの取り換え

予備として2個のアキュポイントキャップが同梱されています。長期間使用し、すり切れたら取り換えてください。取り換え方法は次のとおりです。

- 1 アキュポイントキャップをしっかりとつまんで垂直に引き上げる
- 2 新しいアキュポイントキャップを切り込みにあわせてアキュポイントIIにはめる

フロッピーディスク装置

市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスク装置をクリーニングします。1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

CD-ROM 装置

ディスクトレイを引き出したままにしないでください。

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にCD-ROM装置をクリーニングしてください。



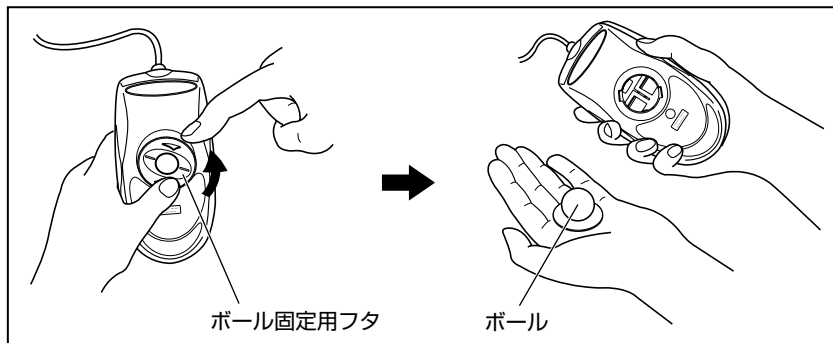
- ・スペアのアキュポイントキャップをお買い求めになる場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

マウス

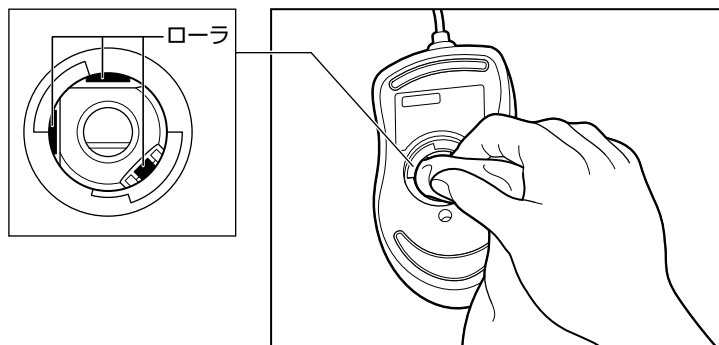
マウスを長時間使用していると、ホコリなどがボールに付着し正常なマウスの動作を妨げ、動作不良の原因となることがあります。

マウスのお手入れは、次の手順で行なってください。

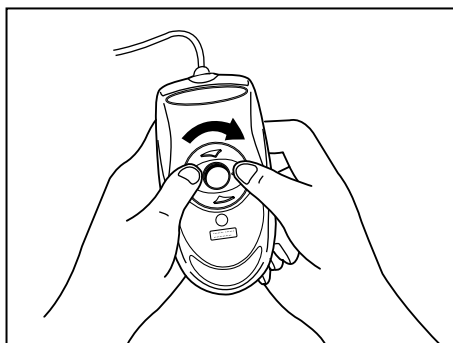
- ①パソコン本体の電源を切ってください。
- ②マウス本体の裏面にあるボール固定用のフタを、矢印方向に回転させてはずし、ボールを取り出します（ネジは、絶対にはずさないでください）。



- ③マウス内部のローラなどに付着した異物は、乾いた布で取り除いてください。



- ④ボールを、水で洗います（中性洗剤を使用する場合はよくすすぎます）。
- ⑤乾いた布でボールの水分を拭き取り、十分乾燥させてからマウス本体に取り付けます。
- ⑥ボール固定用のフタを、矢印方向と反対方向に回転させて取り付けます。フタは、カチッと音がするまで回転させてください。



・ボール固定用のフタ以外は、絶対にはずさないでください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスク装置の寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

CD

CDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CDの表面に文字などを書かないでください。
- CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

8章

ローマ字入力一覧表

文字入力の際に便利なローマ字とかなの対応表です。

1	ローマ字入力一覧表	202
----------	-----------------	-----

1

ローマ字入力一覧表

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

ローマ字が2種類以上載っている欄は、最上段がヘボン式のつづりです。

その他のつづりや、かなが()で表されている欄は、ヘボン式ではありませんが、一般的に使用されているものです。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
	(あ)	(い)	(う)	(え)	(お)
	xa la	xi li	xu lu	xe le	xo lo
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
	きゃ	(きい)	きゅ	(きえ)	きょ
	kya	kyi	kyu	kye	kyo
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
	しゃ	(しい)	しゅ	(しえ)	しょ
	sha sya	syi	shu syu	she sye	sho syo
た	た	ち	つ	て	と
	ta	chi ti	tsu tu	te	to
			(つ)※1		
			xtu ltu		
	ちゃ	(ちい)	ちゅ	(ちえ)	ちょ
	cha tya cya	tyi cyi	chu tyu cyu	che tye cye	cho tyo cyo
	(てゃ)	(てい)	(てゅ)	(てえ)	(てょ)
	tha	thi	thu	the	tho
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
	にゃ	(にい)	にゅ	(にえ)	にょ
	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
	ひゃ	(ひい)	ひゅ	(ひえ)	ひょ
	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	(ふぁ)	(ふい)		(ふえ)	(ふぉ)
	fa	fi		fe	fo
	(ふゃ)	(ふい)	(ふゅ)	(ふえ)	(ふょ)
fya	fyi	fyu	fye	fyo	
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
	みゃ	(みい)	みゅ	(みえ)	みょ
	mya	myi	myu	mye	myo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
	(ゃ)		(ゅ)		(ょ)
	xya lya		xyu lyu		xyo lyo

※1 通常は後の子音を2つ
続けて入力します。
【例】「いった」→ itta


ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
	りゃ	(りい)	りゅ	(りえ)	りょ
	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	わ	(ゐ) *2		(ゑ) *2	を
	wa	wi		we	wo
ん	ん				
	n *3 nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
	ぎゃ	(ぎい)	ぎゅ	(ぎえ)	ぎょ
	gya	gyi	gyu	gye	gyo
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji zi	zu	ze	zo
	じゃ	(じい)	じゅ	(じえ)	じょ
	ja zya	zyi	zyu	zye	zyo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	ji di	zu du	de	do
	(ぢゃ)	(ぢい)	(ぢゅ)	(ぢえ)	(ぢょ)
	dya	dya	dya	dye	dya
	(でゃ)	(でい)	(でゅ)	(でえ)	(でょ)
	dha	dhi	dhu	dhe	dho
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
	びゃ	(びい)	びゅ	(びえ)	びょ
	bya	byi	byu	bye	byo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po
	ぴゃ	(ぴい)	ぴゅ	(ぴえ)	ぴょ
	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴ *4	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	va	vi	vu	ve	vo
	(ヴァ)	(ヴィ)	(ヴユ)	(ヴェ)	(ヴォ)
	vya	vya	vya	vye	vya

※2 キーボードで入力した後、変換してください。

※3 nに続けて子音(k, s, t, nなど)が入力されると「ん」になります。

※4 MS-IMEの場合、「ヴ」にひらがなはありません。ひらがな入力モードで入力したときはカタカナに変換する必要があります。

記号

キーを使ったショートカットキー 171

A

AC アダプタ 16, 161
Alt キー 166, 167
Arrow Mode LED 163, 164
ATOK 13, 60
ATOK のオンラインヘルプ 77

B

BackSpace キー 167
Battery LED 163, 179

C

Caps Lock LED 163
CapsLock LED 164
CapsLock 英数キー 166
CD 154, 189
CD-ROM 装置 160
CD-ROM 装置に関する表示 189
CD-ROM 装置の取り扱い 197
CD 操作ボタン 160, 193
CD 電源スイッチ 193
CD のセット 190
CD の取り扱い 200
CD の取り出し 191
CRT ディスプレイ 155
Ctrl キー 166, 167

D

DC IN LED 32, 163
Del キー 167
Disk LED 163, 174
DSTN 方式 173
DVD 155

E

End キー 167
Enter キー 167
ESC キー 166

F

FDD/CD-ROM LED 163
Fn キー 166
Fn キーを使った特殊機能キー 170

H

Home キー 167

I

IME パッド 72
Ins キー 167
Internet Explorer 画面 96

M

MS-IME 13, 60
MS-IME のオンラインヘルプ 77

N

Numeric Mode LED 163, 165

O

OS 157
Outlook Express 画面 124
Outlook Express の起動 123
Outlook Express の終了 148

P

Pause キー 167
PgDn キー 167
PgUp キー 167
Power LED 32, 163
PS/2 マウス 161

S

Shift キー 166, 167

T

Tab キー 166
TFT 方式 173

W

Windows セットアップ 18
Windows の使い方 26
Win キー 166
WWW 82

ア

アイコン 40
アキュポイント II 41, 156, 160
アキュポイント II の取り扱い 197

アキュポイントキャップの取り換え	197
アクセスポイント	83
アドレス	98
アドレス帳に登録する	136
アドレス帳を修正する	138
アドレスバー	42, 96
アプリケーション	157
アプリケーションキー	167
アラーム音量の調節	170
アロー状態	164, 171

イ

インサートキー	167
インスタントセキュリティ機能	170
インターネット	82
インターネット接続ウィザード	90
インターネット接続を終了する	95
インターネットに接続する	94
インターネットボタン	160, 194

ウ

ウィンドウ説明	42
[上へ] ボタン	46

エ

液晶ディスプレイ	155
エスケープキー	166
エンターキー	167
エンドキー	167

オ

オーバーレイキー	167
大文字ロック状態	164, 169
お気に入り	98
オルトキー	166, 167
オンラインサインアップ	89

カ

改行する	68
書き込み可能状態	187
書き込み禁止状態	187
確定	48
画像を壁紙に設定する	104
画像を保存する	103
カタカナ ひらがなキー	167

カタカナを入力する	70
かな入力	62, 169
画面の手入れ	196
漢字キー	166
漢字に変換する	69
簡単インターネット	89

キ

キーシフトインジケータ	160, 163
キーボード	156, 160, 166
キーボードの取り扱い	196
記号を入力する	71
キャプスロック英数キー	166
休止状態	36

ク

クイック起動ボタン	40
クリック	41
クリック (マウス)	29

コ

固定料金制	84
コピー	49
[コピー先] ボタン	49
ごみ箱	40, 52
[ごみ箱を空にする] ボタン	54
コントラスト調整ダイヤル	161
コントロールキー	166, 167
コントロールボタン	41, 156, 161
コンピュータウィルス	145

サ

再起動	37
最小化ボタン	42
最大化ボタン	42
サイドライト用 FL 管	196
[削除] ボタン	51

シ

システムインジケータ	160, 163
システムスピーカの設定	176
シフトキー	166, 167
シャットダウン	34
従量料金制	84
受信メールを見る	129

仕様	196
使用する機能の選択	170
使用できるCD	189
使用できるフロッピーディスクの種類	184
省電力アイコン	179
省電力モードの設定	170
消耗品	196
署名	141
新着メールチェック機能	149

ス

数字ロック状態	165, 171
スクロール (マウス)	29
スクロールバー	42
スクロールボタン	41, 161
スクロールロック状態	171
スタートページの設定	102
[スタート] ボタン	40
スタンバイ機能	35
ステータスバー	42, 96
スピーカ	160
スペースキー	166

セ

制御キー	169
セキュリティロック・スロット	161
全角	60

ソ

ソフトウェア	154, 157
--------	----------

タ

タイトルバー	42
ダウンロード	106
タスクバー	40
タブキー	166
ダブルクリック	41
ダブルクリック (マウス)	29

ツ

ツールバー	42, 96, 124
通風口	161

テ

ディザリング	173
ディスクトレイLED	190
ディスプレイ	160, 173
ディスプレイ開閉ラッチ	160
デスクトップ	40
デリートキー	167
電源コード	16, 161
電源コードの取り扱い	196
電源コネクタ	161
電源スイッチ	32, 160
電源スイッチロック	32, 160
電源に関する表示	32
電源を入れる	18
電源を切る	30
電子メール	82, 116
添付されたファイルを開く	145
添付ファイルを保存する	146
電話回線のタイプの設定	86

ト

同期	108
同期をとる	110
特殊機能キー	172
時計用バッテリー	180
閉じるボタン	42
ドラッグアンドドロップ	41
ドラッグアンドドロップ (マウス)	29

ニ

日本語入力システム	60
日本語入力システムツールバー	40
日本語入力システムの切り替え方法	77

ネ

ネットニュース	83
---------	----

ハ

ハードウェア	154
ハードディスク装置	154, 174
ハードディスク装置に関する表示	174
ハウリング	176
パソコン使用時の姿勢	15
パソコンの設置環境	15
パソコン本体の取り扱い	195

バックスペースキー	167
バッテリー駆動での使用時間	181
バッテリー充電量の確認	179
バッテリー充電量の減少	180
バッテリーの充電時間	181
バッテリーの充電方法	180
バッテリーの節約	181
バッテリーパック	162
バッテリーパックの交換	182
パネルスイッチ機能	38
半角	60

ヒ

ビデオ出力ケーブル	161
ビデオ出力端子	162
表示	197
表示可能色数	173
表示装置の切り替え	170
ひらがなを入力する	67

フ

ファイル	43
ファイルに名前を付ける	48
ファイルのダウンロード	111
ファイルをコピーする	49
ファイルを削除する	51
ファイルを作る	46
ファイルを添付する	143
ファイルを元に戻す	54
ファンクションキー	166
フォルダ	43
フォルダに名前を付ける	48
フォルダをコピーする	49
フォルダを削除する	51
フォルダを作る	43
フォルダを元に戻す	54
ブラウザ	82
フロッピーディスク	154, 184
フロッピーディスク装置	160
フロッピーディスク装置に関する表示	184
フロッピーディスク装置の取り扱い	197
フロッピーディスクのセット	185
フロッピーディスクの取り扱い	199
フロッピーディスクの取り出し	185
フロッピーディスクのフォーマット方法	186

プロバイダ	82
プロバイダ接続専用 CD-ROM	90
プロバイダの契約	89
文書を保存する	78

へ

ページアップキー	167
ページダウンキー	167
ヘッドホン出力端子	162

ホ

ポーズキー	167
ホームキー	167
ホームページを検索する	97
ホイール	29
ボリュームコントロール	175
ボリュームダイヤル	161, 162, 175

マ

マイク入力端子	162
マイコンピュータ	40
マイドキュメント	40
マウス	156
マウスのお手入れ	198
マウスの使い方	29
マウスの取り付け	28
マウスの取りはずし	28
マウスポインタ	41

ミ

右クリック	41
-------------	----

メ

メールサーバ	116
メール着信ユーティリティ	149
メール着信ランプ	149, 160
メールで使える文字	141
メールのしくみ	116
メールボタン	160, 194
メールを削除する	132
メールを作成する	125
メールを受信する	128
メールを送信する	128
メールを転送する	131
メールを分類する	134

メールを返信する	130
メニューバー	42, 96, 124
メモ帳	58
メモリカード	155

モ

文字キー	59
文字化け	121
文字パレット	74
モジュラーケーブル	161
モジュラーケーブルの取り付け	87
モジュラーケーブルの取りはずし	88
モジュラージャック	161
文字を削除する	68
元のサイズに戻すボタン	42

ヤ

矢印キー	167
------------	-----

ユ

ユーザ登録をする	27
----------------	----

ラ

ライトプロテクトタブ	187
------------------	-----

リ

リセットスイッチ	160
リリース情報	1

ロ

ローマ字キー	167
ローマ字入力	62
ローマ字入力一覧表	202